

事業報告書

平成 29 年度の協会活動を次の 4 事業に大別して報告する。

1. 刊行事業
2. 講演・講習会等の事業
3. 会議・委員会・部会活動推進事業
4. その他の事業(開発・研究関連等)

1. 刊行事業

本会の機関誌である協会誌「強化プラスチック」(月刊)の更なる内容充実に努めた。協会誌の編集会議を毎月 1 回開催し、協会誌の特集、連載講座、その他新たな企画をし、読者が読みやすくなるためになる協会誌作りに努めた。

電子メールでの会員の声の投稿先を継続的にご案内して意見を求め、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、協会誌の「会員・読者の欄」への公開を継続中。

- (1) 協会誌「強化プラスチック」(Vol.63,No.04~Vol.64,No.03)
平成 28 年 1 月号(Vol.62,No.01)から表紙デザインコンペの優秀作品を採用していたが、平成 30 年 1 月号(Vol.64,No.01)から緑色に変更した。
- (2) 62nd FRP CON-EX 2017 講演要旨集
- (3) 刊行物、記念出版物等の販売
- (4) 出版物増刷等フォロー

2. 講演・講習会等の事業

- (1) 講演・講習会・セミナー等

【当協会が主催したもの】

- ① 62nd FRP CON-EX2017 (第 62 回 FRP 総合講演会・展示会)

平成 29 年 11 月 13 日 (月)、14 日 (火) コラッセふくしまで開催した。

実行委員長 小沢喜仁 (福島大学)

講演部門実行委員長 菅原康則 (福島県ハイテクプラザ)

展示部門実行委員長 五十嵐和彦 (日東紡績)

協賛 70 関連学・協会

会期 平成 29 年 11 月 13 日 (月)、14 日 (火)

会場 コラッセふくしま

技術交流会 120 名参加

期日 平成 29 年 11 月 13 日 (月) 夕刻

会場 飯坂温泉吉川屋

講演 380 名参加

特別講演

2 件

	招待講演	2 件
	キーノート	2 件
	一般講演	34 件
展示	一般展示	30 企業・団体 展示数 41
	ポスターセッション	25 件
表彰	論文賞	2 件
	最優秀ポスター賞	1 件

② FRP 懇話会（担当理事：末益博志（上智大学））

第 11 回

日 時：平成 29 年 5 月 12 日（金）17 時～19 時頃
 会 場：強化プラスチック協会 会議室
 話題提供者：羽生田鉄工所 代表取締役 羽生田豪太 氏
 題目：羽生田鉄工所の紹介と強化プラスチック協会への期待

第 12 回

日 時：平成 29 年 10 月 17 日（火）17 時～19 時頃
 会 場：強化プラスチック協会 会議室
 話題提供者：三山工業(株) 専務取締役 高橋哲也 氏
 題目：下水道と FRP

③ 第 30 回 FRP 入門講習会（東京）

期 日：平成 29 年 6 月 28 日（水）
 会 場：日本大学理工学部 駿河台校舎
 企画実施 情報・編集委員会 参加者 53 名

【当協会が共催/後援/協賛したもの】

関西 FRP フォーラム【FRP 入門講習会】

（関西 FRP フォーラム、強化プラスチック協会共催）

期 日：平成 29 年 9 月 14 日（木）
 会 場：大阪産業技術研究所 森之宮センター
 参加者 23 名

他の後援/協賛を含め計約 35 件

3. 会議・委員会・部会活動推進事業

各々の組織内コミュニケーションを十分に図りながら、この業界のニーズに応えられる活動を展開する。

< 3-1 会議関係 >

運営会議

当会議は会の事業・予算等及び各委員会の設立廃止に関し立案し会務を運営することを主務としている。例年同様 業界ニーズに的確な対応を図り産業振興に寄与する。

< 3-2 委員会関係 >

(1) 情報・編集委員会 (委員長：久保内昌敏 (東京工業大学)、副委員長：荻原慎二 (東京理科大学))

毎月1回開催して協会誌の編集、掲載記事候補、特集の企画、協会誌読后感想、「まちかど F+R+P」他を審議・推進した。

電子メールでの会員の声の投稿先、「まちかど F+R+P」の投稿先を継続的にご案内し、また、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、前述の会員の声と共に協会誌の「会員・読者の欄」で公開することにより、会員とのコミュニケーションを密にして活性化に繋げることを継続実施した。

FRPの基礎知識習得を目標とした“FRP入門講習会”を開催した他、コンポジット市場動向等を目的として“海外FRP事情”の提供は会誌を通じて行った。

情報発信力強化と会員様が活用しやすくするために、ホームページをリニューアルし、平成29年9月に会員用にプレオープンし、12月にリニューアル版を正式にリリースした。リリース後も改善継続中。

新たに化学系のやさしいシリーズ解説を検討開始した。

(2) 国際交流委員会 (委員長：野間口兼政 (樹脂ライニング工業会))

海外視察：

- ・ JEC Americas 2017(6月20日~22日 シカゴ) 1名
- ・ CCE 2017(9月6日~8日 上海) 約10名
- ・ JEC Asia 2017(11月1日~3日 ソウル) (4年振りに協会ブース設営)
- ・ JEC World 2018(3月6日~8日 パリ) 38名

協会誌報告：以下各報告

- ・ 「JEC World 2017 の概要」(6月号)
- ・ 「JEC Asia 2017 の概要」(3月号)

62nd FRP CON-EX 2017：国際交流委員会報告(11月13日 コラッセふくしま)

JEC World 2018 視察ツアー

会 期 平成30年3月5日~11日

会 場 パリ

(3) 技能振興検定委員会 (委員長：佐野広道 (サカイ産業))

中央職業能力開発協会へのFRPに関する座学への協力を行った。

- ・ 強化プラスチック成形、手積み積層作業技能検定制度
- ・ 防水施工、FRP防水工事作業検定制度

日本小型船舶検査機構への協力

- ・ スプレニアップ積層板のガラス含有量と機械的特性の関係

厚生労働省

- ・ 社内検定制度への支援

(4) FRP性能評価委員会 (委員長：青木隆平 (東京大学))

- ・ 全体委員会は、開催しておりません。

(5) 規格標準等関係委員会

日本プラスチック工業連盟・規格部会（JIS、ISO など）の中での必要となる資料を基に活動中である。

(6) 環境委員会

特定化学物質障害予防規制等の改正が、平成 26 年 11 月 1 日に施行・適用されている。スチレンモノマーが、有機溶剤から特定化学等の物質に指定されている。会員から測定法その他問合せに対応継続中。

(7) 表彰委員会（委員長：末益博志（上智大学））

平成 29 年度、推薦のあった功績賞、FRP 技術賞候補者につき審議を行い、授賞にふさわしいとの結論を得て会長に報告した。平成 29 年度 功績賞、FRP 技術賞各賞授賞者の発表及び表彰は第 63 回通常総会時に行われる。

< 3-3 部会関係 >

工業部会は特定の業種、特定の商品群に関する会員相互の技術水準の向上、情報交換等を目的として組織活動を行っている。いわゆる工業会的活動をとおして各々の組織の事業目的に沿った自主的な事業活動を推進した。

(1) 原料部会（部会長：上期 古屋秀樹（日本ユピカ）、

下期 中村賢一（オーウェンス コーニング ジャパン）

FRP 業界の市場動向の調査/分析並びに協会活動への積極的な協力/支援を行った。

- ①国内「不飽和ポリエステル樹脂（ビニルエステル樹脂含む）・ガラス繊維使用 FRP 製品」の用途別、成形法別出荷推計資料の定期広報
- ②JEC World 2017 ミニレポート作成、協会誌 6 月号掲載
- ③CON-EX 2017 運営協力
- ④JEC World 2018 に参加(1 名)

(2) 耐食部会（部会長：源水秀彦（富士レジン工業））

- ① 耐食部会は 4 回（6 月 15 日、10 月 19 日、12 月 21 日、2 月 5 日）開催。
 - ・ 62nd FRP CON-EX 2017（11 月 13 日～14 日）の入場券配布。
- ② 耐食 FRP 劣化診断分科会は、2 回（6 月 15 日、8 月 17 日）開催。
 - ・ FRPS C003（FRP 製耐食機器の性能検査指針）改定作業中
- ③ その他の団体との連携
 - ・ 化学工学会装置材料部会有機材料分科会委員会活動及び関西 FRP フォーラム、樹脂ライニング工業会などの情報活動に参加

(3) 給水タンク部会（部会長：清須美健治（積水アクアシステム））

- ・ 給水タンクの市場動向掌握
- ・ 給水タンクのランキング表示制度(共同広報モデル推進協議会)への参画
- ・ 水槽診断士制度への技術的協力
- ・ FRP 水槽の役割/重要性の PR（広報活動）
- ・ 土木学会地震工学委員会への参画

(4) タンクローリー部会（部会長：鈴木正幸（富洋レジン工業））

休会中：部会員相互（富洋レジン工業、富士レジン工業）の情報交換は継続実施。

平成 30 年度 6 月より再活動の準備

(5) FRP 引抜成形工業部会 (部会長：柏女浄照 (AGC マテックス))

現在部会員は 1 社のみのため、主要な活動は休止中。

(6) 橋梁開発専門委員会準備委員会 (委員長：睦好宏史 (埼玉大学))

連続繊維補強材 (FRP) の性能および照査方法を明らかにするとともに、当該材料を RC、PC 構造物に採用する場合の設計・施工指針を作成することを目的とした委員会であり、平成 29 年度は委員会を 1 回、幹事会を 2 回開催し、海外文献・規準の調査、目次案について討議を行った。(プレストレストコンクリート工学会関連)

(7) 廃 FRP の再資源化

・台湾視察団対応

5 月に台湾 FRP 協会を窓口とする CFRP 再資源化の調査団 (11 名) をジャパンフジリサイクルセンター、高砂工業(株)に案内し、情報提供を行った。

・「最新 材料の再資源化技術事典」(株産業技術サービスセンター刊行)へ FRP のリサイクルについて投稿した。

4. その他の事業(開発・研究関連等)

(1) 熱可塑性複合材料 (FRTP) 研究会 (研究会会長：濱田泰以 (京都工芸繊維大学))

第 8 回 平成 29 年 4 月 14 日 東大阪市立産業技術支援センター

受講者数：45 名

(2) 炭素繊維成形・利用研究会 (研究会会長：末益博志 (上智大学))

第 5 回 平成 29 年 7 月 7 日 調布航空宇宙センター飛行場分室

受講者数：85 名

(3) FRP 成形・利用に関する合同研究会 (研究会会長：末益博志 (上智大学))

第 2 回 平成 30 年 2 月 26 日 東レリサーチセンター

受講者数：64 名